



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 東日本大震災の被災地調査結果……………2ページ
- 自主防災会活動事例(大草・泉校区)……………3ページ
- 地域の話(伊良湖校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

東日本大震災の被災地調査結果

4月23日(月)～25日(水)、「東三河広域協議会被災地調査派遣チーム」による東日本大震災の被災地現地調査が行われ、田原市からは、副市長と市民環境部長が参加しました。市民の皆さんに、調査概要などをお知らせします。

《調査概要》

被災地調査派遣チームは、宮城県仙台市、石巻市、南三陸町、岩手県陸前高田市を訪問し、次の点について、被災自治体の聞き取り調査や、現地の被災状況の視察を行いました。

●調査項目

- 災害からの復興状況
- 災害廃棄物の処理状況
- 被災自治体としての要望など



●仙台市



●石巻市

《調査報告抜粋》

- ◆被災自治体業務を、全般にわたり物的・人的に支援し続けることが何より必要である。
- ◆原則として、がれきは発生地域での早期処理を計画化し、それを促進・支援することが望ましい。
- ◆いずれの自治体も、がれきは自区内処理を最優先に、自らの地域で解決できるものは自らで解決するとの強い決意と自負を持ち取り組んでいる。
- ◆放射能汚染に係る基準を設定すべき事態が生じた場合は、改めて調査と検証が必要である。

この調査結果を踏まえ、東三河地域の8市町村で構成する東三河広域協議会として、今後の被災地の支援について検討・実施してまいります。

※調査報告は、市ホームページでご覧になれます。今後も、市ホームページなどで随時お知らせしていきます。

▼政策推進課 ☎23局35507

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

市民発!

「地域の宝(旧小塩津保育園の桜)」

元小塩津自治会長 古川美栄さん

旧小塩津保育園にある桜の老木が、今年も満開となりました。

この桜は、昭和29年1月、地元の古川勇氏らにより、伊良湖岬地区で最も早く開園した小塩津保育園の園庭に植えられたものです。昭和42～46年度まで同保育園の園長を務めた古川勇氏が、このことを詠んだ歌が残されています。「苗を買ひ此の手で植へし桜木の幾千代までも咲いて栄へよ」。この歌からは、同氏がこの桜を通して小塩津地区のさらなる繁栄を願う思いが伝わってきます。かつての保育園の面影をしのぶものは、今ではこの桜の木だけですが、道路の拡幅により、一部を残して切られることが予定されています。

長年にわたり地域の人々に親しまれてきた桜の木。その満開の美しい桜を、しっかりと目に焼き付けました。

